平 成 24 年 度　教 育 研 究 業 績 書

氏名　　宮坂　靖子

最終学歴	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科後期博士課程人間発達学専攻　単位取得満期退学	
取得学位	修士（家政学）	
所属学会	日本社会学会、日本家族社会学会、日本家族問題研究学会、日本家政学会、 比較家族史学会、日本家政学会家族関係学部会、社会学研究会	
専門分野	家族社会学、ジェンダー論、歴史社会学	
研究課題	近代日本における近代家族の形成に関する歴史社会学的研究 アジアにおける家族とジェンダーに関する比較研究	
授業科目	学部担当科目	・ジェンダー ・家族社会学 ・ジェンダーとライフコース ・社会体験実習 ・社会学演習（Ⅰ～Ⅳ）
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	・家族社会学特殊講義 ・社会文化研究演習Ⅰ ・社会文化研究演習Ⅱ
	大学院博士後期課程 担当科目	
	通信教育部担当科目	・人間論Ⅳ
【研究上の特記事項】	研究代表者：平成24～26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「生殖とセクシュアリティの近代－東アジアにおける「近代家族」とジェンダー」	
【教育上の特記事項】	・「社会学入門」の授業において、専門家を講師として招いて特別授業を行った。講師：柄子真弓氏（支援団体ラーラ会代表）　講演テーマ：「アフガニスタンの孤児支援」 ・県立西の京高等学校、高円高等学校において「アフガニスタンの社会と子どもたち」というテーマで授業を実施した。	
【社会的活動】	①学会活動：日本家族社会学会理事・同事務局長（2010年9月～）、日本社会学会編集委員会委員（2013年12月～）、社団法人日本家政学会家族関係学部会役員・同編集委員会委員（2012年10月～）、家族問題研究学会『家族研究年報』専門査読委員（2013年1月～）、『社会と調査』専門査読委員（2011年10月～） ②社会活動：奈良県教育委員会・社会教育委員、奈良県こども子育て応援県民会議委員、同家庭の子育て力推進委員会委員長、奈良市男女共同参画審議会委員 ③講演会講師：奈良県生駒市「男女共同参画基礎講座」（平成24年10月12日）「変わる家族のきずな－少子高齢社会を共に生きる」、京都府木津川市「男女共同参画講座」（平成24年7月5日）「変わる家族、変わる男女の絆－新しい時代のワーク・ライフ・バランスを求めて」、大阪府吹田市「地域保育スタッフ養成講座」（平成25年1月11日）「家族の子育てと地域の子育て－育ちあい、支え合う、子育て支援の大切さ－」、大阪府寝屋川市「男女共同参画学習講座」（平成25年2月19日）「アジアに生きる女性たち－社会と家族と私」、地域科学研究会高等教育センター主催「科研費の申請・獲得策とその実際Ⅱ」（平成24年6月19日）「科研費の研究計画調書のチェックポイント－審査員（書面審査・合議審査）の経験をふまえて」 ④非常勤講師：京都大学医学部人間健康学科「家族看護学」（3回担当）	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	①学内委員等　奈良大学セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員、図書館委員、広報委員、科研費申請書作成アドバイザー ②FD研修会講師「ゆらぐ学生へのまなざし－現代社会学科・社会調査学科の学生とのかかわりを通して」（平成24年7月12日）	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
(著書) ①亜州社会的家庭和両性関係	共	2011年11月	世界知識出版社(中国・北京市)	落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編著『東アジアのジェンダーと家族』(勁草書房,2007)の中国語版(ISBN978-7-5012-3970-2)落合恵美子・宮坂靖子・周維宏・山根真理編著、全340頁
(学術論文) ①大正期における産児調節運動の展開と普及－産児調節相談所の活動とその利用者－	単	2012年12月	『家族関係学』31(一般社団法人日本家政学会家族関係学部会)pp37-48	日本の産児調節運動の中で展開された産児調節相談所の活動とそれにアクセスした人々の社会階層や諸特性を明らかにした。
②ウイグル族の家族とジェンダー　－2000-2005年プロジェクト調査報告	単	2012年5月	『早稲田大学アジア・ムスリム研究所活動報告平成23(2011)年度』pp.86-96	新疆ウイグル自治区で実施した調査から得られたウイグル族の家族とジェンダーの諸特徴と同自治区における一人っ子政策、「双語」教育の展開をまとめた。
(学会発表) ①社団法人日本家政学会家族関係学部会セミナー	単	2012年10月28日	第31回家族関係学セミナー	「産児調節運動における避妊の実践とその利用者」於岡山大学教育学部
(その他) ①科研「東アジアの近代家族とセクシュアリティ」公開研究会開催、於慶応大学三田キャンパス(2012年12月2日)		2012年12月	研究費補助金(基盤研究C)「生殖とセクシュアリティの近代－東アジアにおける「近代家族」とジェンダー」主催	宮坂靖子「避妊をめぐる言説構成とロジック－セクシュアリティにおけるジェンダー非対称性」、その他の報告者:光石亜由美(奈良大学)、阪井裕一郎(慶応義塾大学)、本多真隆(慶応義塾大学院)
②ならリビング、奈良新聞記事掲載(2012年12月14日)		2012年12月	奈良新聞社	年末年始の夫の実家との付き合い方について、家族社会学の見地からコメントを行った。